

津波対策

東日本大震災の津波は青森県から千葉県の太平洋沿岸に甚大な被害をもたらしました。津波から身を守るには、唯一『逃げる』しかありません。津波注意報や警報が発表されたらとにかく高い場所に避難しましょう。

こんなときには、このような行動を

1. 強い地震や長い時間の揺れを感じたり、津波警報が発表されたら（揺れを感じない場合も）、海岸にいる人、津波危険区域の人は、すばやく高台か高いビルへ避難する。
2. 津波注意報が発表されたら、海水浴や磯釣りは危険なので中止し、安全な場所へ移動する。津波危険区域の人は、いつでも避難できるよう準備する。
3. 正しい情報をラジオやテレビで入手する。
4. 津波は繰り返し襲ってきます。警報、注意報が解除されるまで、海岸には近づかないようにする。

津波予報の種類

気象庁が発表する津波警報や津波情報の内容が、平成 25 年 3 月 7 日から変わりました。気象庁では、地震発生直後にその発生場所（震源）と規模（マグニチュード）を推定し、直ちに発生する津波の高さや到達時間などを予想し、地震発生の約 3 分後に津波警報などを発表します。ただし、巨大地震の場合、その規模を直ちに推定することが困難で、適切に津波の高さを予想できないことがあります。このような地震が発生した場合には、最大級の津波を予想して、津波の高さを「〇メートル」という数値ではなく、大津波警報では「巨大」、津波警報では「高い」という言葉（キーワード）を用いて発表します。

	予想される津波の高さ (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	とるべき行動
大津波 警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波 警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	
津波 注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。

津波から避難するポイント

1. 地震の揺れの程度で自ら判断しない。

揺れがそれほどなくても津波が起きるケースは、過去にしばしばありました。揺れを感じなくても、まずは避難を最優先にしましょう。

2. 避難の際に車は使わない。

原則として、車で避難するのはやめましょう。車で避難する人が続出、狭い道路が渋滞してしまい、そのために津波にのみ込まれて命を落とした人が多数でした。

3. 津波の『俗説』を信じない。

この地域では、『津波はない』という俗説を信じるあまり津波への警戒心が足らなくなることがあります。根拠のない俗説に命をゆだねることなく、気象庁の津波情報に耳を傾けましょう。

4. 『遠く』よりも『高く』に逃げる。

すでに浸水が始まってしまった場合などは、思うように避難できないことが予想されます。そのような場合は、遠くよりも高い場所、例えば、近くの高台、鉄筋コンクリート造りの建物の3階以上に避難しましょう。(2mの津波で3階建以上、3mの津波で4階建以上)